

第40回入学式『学校長式辞』

遠くに見える山々にはまだ雪が残りながらも、この米里の地を吹き抜ける風には確かな春の息吹が感じられます。新入生の皆さんの新しい一歩を祝福するような爽やかなこの佳き日に、札幌市立米里中学校・第40回入学式を挙行できますことは、私たち教職員、そして在校生にとって大きな喜びであります。

本日はご多忙のなか、本校PTA会長 荒木様をはじめ、菊水小学校 高屋敷校長先生、米里小学校 小松校長先生、幼稚園・保育園の園長先生方、学校評議員や地域を代表するご来賓の皆様、そして保護者の皆様のご臨席を賜りました。高い席からではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、107名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から皆さんは、この米里中学校の一員です。真新しい標準服に身を包み、期待と希望、そして少しの不安を胸に今日という日を迎えたことでしょうか。しかし、心配しすぎなくともよいのです。私たち教職員はもちろん、頼りになる先輩方が、様々な場面で皆さんを全力でサポートします。ぜひ、新しい決意を胸に、中学校生活への第一歩を力強く踏み出してください。

皆さんの門出にあたり、一つだけ大切なお願いがあります。これは昨日、始業式で二・三年生にも伝えましたので、「米里中学校に通う全員へのお願い」となります。

それは、「みんなの学校」を作る「当事者」になってほしい、ということです。

いじめがなく、誰もが安心して学ぶことができる学校。それは、誰かが勝手に作ってくれるものではありません。私たち一人ひとりが自分の手で作り、守っていくものです。米里中学校は、いじめを絶対に許しません。もし、いじめが疑われることがあれば、私たちは決して事実から目を背けません。何があったのかをしっかりと確認し、当事者である全員が「悲しみを繰り返さないためにどうすべきか」を考え、行動します。もし不安や苦しさを感じたら、迷わず友人や先生、家族に相談してください。「誰かに任せる」のではなく、全員が「自分たちの学校を、自分たちの手で安心できる居場所にする」という当事者意識をもってください。そして、誰もが失敗を恐れず、互いの成長を応援し、本気で挑戦できる学校を共に作っていきましょう。

ご来賓の皆様、地域の皆様、そして保護者の皆様。子どもたちの健やかな成長は、学校・家庭・地域がしっかりと手を取り合い、信頼の絆で結ばれてこそ成し遂げられるものです。本校では学校だよりやホームページ等を通じ、子どもたちの様子を積極的にお伝えし、より開かれた学校づくりに努めてまいります。今後とも、本校の教育活動への温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。標準服に身を包んだお子様の姿を今日ご覧になり、これまでの歩みを思い返し、感慨もひとしおのことと拝察いたします。子どもたちはこれからの三年間で義務教育を終え、いよいよ自立の時を迎えます。この米里地区では、小中九年間を通して、社会で生き抜く力を育む「五つのかぎ」—「敬語」「挨拶」「マナー」「学びの姿勢」「家庭生活」を合言葉に教育を推進しております。中学校での生活は、社会へと続く大切な架け橋です。保護者の皆様におかれま

しても、時には優しく、時には厳しく、お子様の自立と共生への歩みを共に見守ってくださいますよう、よろしく願いいたします。

さあ、新入生の皆さん。いよいよ中学校生活のスタートです。皆さんがこの米里中学校で、もてる個性を輝かせ、大きく飛躍することを心から期待し、式辞といたします。



令和8年4月9日

札幌市立米里中学校 校長 押切 智哉

『来賓祝辞』

只今ご紹介に預かりました。米里中学校 PTA 会長の荒木と申します。PTA を代表致しましてお祝いの言葉を申し上げます。

新入生の皆さん、保護者の皆様、本日は、ご入学誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

新入生の皆さん、本日よりこの米里中学校の生徒となります。今、皆さん方はこれからの中学校生活に期待と不安がまじりあった感情を抱いているのではないのでしょうか。

今日から、中学生として大人への階段を一段上がり、小学生の時とは違い、勉強・部活動・生徒会活動・学校行事など、自主性が求められる事が沢山あります。自主性と言われても何をすれば良いのか解らないかもしれません。

自主性とは、指示を待たずに自分の判断で行動出来る事です。

すなわち、「自分の判断」を行っていかねばなりません。間違っているのではないかと思う方も多いと思います。ですがその間違いを冒すことを恐れたり、不安になる事はありません。それは間違いではなく、正解に至る為に必要な事だと考えてください。

時には、判断に迷う事もあると思います。その時は、先生・友達・先輩・両親に相談して下さい。我々は相談を待っています。

時には、聞きたくないとも言われるかもしれません。ですがそれは皆さんの事を思って出る言葉です。ぜひ前向きに受け取って判断の材料にして頂きたいと思います。

さて、保護者の皆様、重ね重ねお子様のご入学おめでとうございます。

先月の卒業式にもお話致しましたが、中学校生活の3年間は、お子さんが親離れをしていく時期です。我々親も子離れをしていかねばなりません。長いようで短い3年間。子供たちにどう接したら良いか分からなくなったり、心配で夜も眠れなくなる事もあるでしょう。そんな時は、学校の先生や親友達、我々PTA を頼って頂きたいと思います。一人で悩むのではなく、話すことで道が開けることもあります。この入学式に集まった方々全員でお子さんを導き、育てていきたいと思っています。そして3年後の卒業式には、立派にこの米里中学校を巣立って行ってもらいたいと思います。

最後になりますが、押切校長先生をはじめ、学校職員の皆様方、本日入学を許可され希望に胸を膨らませている新一年生を温かく、時には厳しくご指導して下さいますようお願い申し上げます。

また、ご臨席賜りましたご来賓の地域の皆様方にも小学校までと同様に、私たちの子供達にご支援とご指導を宜しくお願い致します。

それでは、新入生の皆さんのこれからの成長とご活躍、そして、この入学式に参加して下さった皆様のご多幸を祈念致し、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和8年4月9日 札幌市立米里中学校 保護者と先生の会 会長 荒木直也



第40回入学式「歓迎のことば」

希望にあふれる輝かしい春の日を迎えた今日、この米里中学校の新たな一員となる新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

慣れない制服に身を包み、中学生になった皆さんは今、どのような気持ちでしょうか。新しい環境になり、ワクワクする気持ち、そして難くなる勉強についていけるか不安な気持ちなど、緊張していることと思います。

なので、皆さんに少しでも米里中学校のことを知っていただきたいと思います。

まずは行事についてです。米里中学校には様々な行事があり、皆さんにとって初めての行事も多くあります。例えば、米里中学校以外の場で学習する「旅行的行事」や「陸上競技大会」、クラスで団結し合う「学校祭」や「合唱コンクール」など、楽しい充実した行事があります。

その中でも特に盛り上がる行事が『学校祭』です。クラスの人と協力し合い、1ヶ月ほどの時間をかけて完成させます。この行事ではクラスの仲が深まり、達成感を味わうことができます。また、集団で何かをつくることの難しさ、大切さなども感じるすることができます。

次に、部活動についてです。部活動は行事や授業以外に先輩方、先生方と関わることでできる機会です。違うクラスの仲間達と日々努力し、目標に向かって困難を乗り越えることで、成長を実感するとともに大きな思い出にもなります。

他にも、米里中学校には生徒会組織があります。生徒会執行部や委員会・局会があり、そこでは学校をより良くするための活動を行っています。小学生の時にそのような活動をしたことがある人も、ない人も、積極的に挑戦してみてください。

米里中学校には、今話した活動の他にも様々な活動があります。勉強とその活動を両立させることや自ら考えて行動することが大切になっていきます。しかし、その中でわからないことや、一人では解決できないこともあると思います。そんなときは色々な人に頼ってみることが大切です。皆さんの周りには、先輩や先生方、保護者の方々、そして地域の方々があります。皆さんは、決して一人ではありません。この3年間でたくさんのことに挑み、失敗と成功を繰り返して、大きく成長してください。

最後になりますが、これから始まる皆さんの中学校3年間はあっという間に終わってしまいます。人生で過ごす一日には同じ日なんてありません。その中で後悔することがないように、色々なことに全力で取り組んでみてください。そして、仲間との日々を大切に過ごしてください。

この米里中学校で心から楽しいと思えるような毎日をつくっていくために、私たちと一緒に様々なことに”挑戦”し続けましょう。私たち在校生もしっかりと応援します。共に米里中学校の新たな歴史を創って行きましょう。

令和8年4月9日 第40期生徒会長



新入生代表「喜びのことば」

私たちは、数々の思い出があった小学校生活を終え、真新しい制服を身にまとい、今日からこの米里中学校で、新たなスタートを切ります。

私には中学校生活で楽しみなことが二つあります。一つ目は部活動です。中学校訪問のときに、私は科学部を見学しました。先輩たちは、とても楽しそうな雰囲気を実験をしていました。実験していたのは、火の色の変化で、六年生で学んだ、「物の燃え方と空気」という単元に関わりがありそうでした。科学の面白さにふれて、とても興味がわく体験でした。また、他の部活動もとても楽しそうでした。特に、菊水小学校で聞いた、吹奏楽部の音楽にとっても感動しました。吹奏楽にも挑戦したいと、興味がわきました。どの部活動も楽しそうなので、どこに入部するか迷っています。中学校生活で一番楽しみなのは、部活動です。

二つ目は、たくさんの学校行事です。陸上競技大会や、校外学習、二年生での宿泊学習、三年生での修学旅行が、楽しみです。陸上競技大会が、その中でも一番楽しみです。小学校で頑張ってきたスポーツの成果を、存分に発揮したいです。その一方で不安なことも二つあります。一つ目は「言葉遣い」です。「五つのカギ」にもある敬語は、使用する機会が今まではあまりありませんでした。先輩や先生方にしっかりと敬語をつかえるか不安に思っています。二つ目は、学習面です。中学校ではテストが難しくなる上、範囲も広がります。いい点数をとれるかが、今は一番心配です。特に英語のスペルは、小学校で少ししか学ばなかったので、不安です。

この不安を乗り越えて楽しい中学校生活にするために、私は二つのことを頑張ります。一つ目は、言葉遣いの辞典を、寝る前に必ず読むという習慣を身に付けることです。二つ目は、学力を上げるために、小学校から頑張ってきた通信教材に、今まで以上に一生懸命に取り組み、家庭学習の質を高めることです。こうやって私は、自分の不安と立ち向かっていこうと思います。

一年生の皆さん、たくさんの楽しみなことと不安なことがあると思います。私も同じです。しかし、人生の中でこの中学校三年間は、とても大切です。だからこそ、小学校の思い出は大切にしつつも、中学生として新たな気持ちでスタートを切らしましょう。そして、卒業式で、最高のゴールを迎えられるように、一緒に楽しい中学校生活にしていきましょう。二、三年生の皆さん、先生方、保護者の方々、私達一年生は、中学校生活を楽しくできるように精一杯頑張ります。応援、よろしく願います。

令和8年4月9日 新入生代表

